



滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール



滋賀県立文化産業交流会館

びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

91

2021. Winter

NO.

Contents

プロデュースオペラ ワーグナー作曲『バルジファル』 …	P2・3
オペラへの招待 沼尻竜典作曲『竹取物語』 ……	P4・5
びわ湖ホール声楽アンサンブル/船越亜弥、日本音コン制覇 ……	P5
『つばめ』レポート、シアターメイツ募集 ……	P6
クローズアップ 鈴木優人、阪 哲朗 ……	P7
2021年冬～22年春公演Pick up!!、TOPICS ……	P8
びわ湖ホールインフォメーション ……	P9
えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より…	P10・11
劇場・舞台芸術の力 ……	P12



びわ湖ホールプロデュースオペラ

ワーグナー作曲 舞台神聖祝祭劇『パルジファル』

新制作

全3幕(ドイツ語上演・日本語字幕付)

好評の『びわ湖・ワーグナーシリーズ』に 最後のオペラ『パルジファル』が登場

今年は、ワーグナーの最後のオペラとなった『パルジファル』を上演します。主役のパルジファルには、パイロイト音楽祭や名門歌劇場でこの役を歌ってきたクリスティアン・フランツと過去に東京二期会の公演でパルジファルを歌い、昨年度はびわ湖ホールでローエン格林を歌った福井 敬、2人のトップ歌手が扮します。

指揮は、びわ湖ホールのワーグナーシリーズを高い音楽性で成功に導いたびわ湖ホール芸術監督の沼尻竜典、そして、このシリーズには欠かせない京都市交響楽団など盤石の陣容で上演に臨みます。



ビートの上部3分の2が覆われている。パイロイト祝祭劇場。
『パルジファル』は、この劇場の音響を想定して作られた。



『パルジファル』とは

舞台神聖祝祭劇『パルジファル』は、リヒャルト・ワーグナーが死の前年の1882年に完成させた13作目にして最後のオペラ。中世スペインのモンサルバート城およびクリングゾルの魔法の城を舞台とする。

台本：中世ドイツの詩人ヴォルフガング・フォン・エッシェンバッハの叙事詩「パルジヴァール」等に着想を得、ワーグナー自身が執筆。

作曲：1882年完成

初演：1882年7月26日、パイロイト祝祭劇場(第2回パイロイト音楽祭)

指揮：ヘルマン・レヴィ

あらすじ

第1幕

モンサルバート城の王で聖杯守護者のアムフォルトスは、魔法を操るクリングゾルに聖槍を奪われ、戦いで槍によって傷を負う。老騎士グルネマンツは『「同情の心を知る無垢な愚か者」がいつか王となり聖地を救済するだろう』との神託を思い出す。

その時、粗暴な若者が、湖の白鳥を射落としたとして連れて来られる。パルジファルである。グルネマンツは、神託の愚か者ではと期待、聖杯の儀式を見せるが興味を示さず、グルネマンツは、パルジファルを城の外に追いやる。

第2幕

パルジファルは旅を続け、クリングゾルの魔法の城にたどり着く。そのたぐらみで、パルジファルを誘惑するのは謎の女クンドリ。聖女と魔女という女性の二面性を象徴する。パルジファルは、その誘惑を退け「知」も得る。

誘惑に失敗したクリングゾルは、聖槍をパルジファルめがけて投げかけるが、奇跡が起こり槍は頭上で静止し、パルジファルが奪い返し、魔法が解けて、城は元の荒野に戻る。

第3幕

長い年月を経たある聖金曜日、現王アムフォルトスは聖杯の儀式を拒否、先王ティトゥレルは没し、荒廃したモンサルバート城にパルジファルは帰り着く。

今や愛と哀れみの心を持ち、聖なる騎士となったパルジファルは、聖槍の力でアムフォルトスの傷を癒し、苦しみから救う。パルジファルは聖杯を高く掲げて新王となり、聖杯の儀式を引き継ぐ。

『パルジファル』をより深く楽しむために

●オペラ講座『パルジファル』(初級編/全2回)

映像や音楽を交え、本公演を楽しみながら予習していただけます。

第1回 2021年12月19日(日) 愛と同情の心を得た少年パルジファルが世界を救済

第2回 2022年 1月15日(土) パルジファルとは何者? 謎の魔女クンドリとは?

講師：東条碩夫(音楽評論家)

全2回通し券：取扱終了 1回券(当日残席がある場合のみ販売) 1,500円

●ワーグナー・ゼミナール(上級編/全3回)

ワーグナー研究家の第一人者である講師を迎え、専門家ならではの視点を交えて『パルジファル』を解説します。

第1回 2022年2月5日(土) 14:00~16:45

『パルジファル』総譜解説 講師：岡田安樹浩(国立音楽大学講師/音楽学)

第2回 2022年2月12日(土) 14:00~16:45

作品成立事情とテキスト解説 講師：伊東史明(大谷大学講師/ドイツ文学)

第3回 2022年2月20日(日) 14:00~16:45

作品の全体像とその思想的背景

講師：藤野一夫(芸術文化観光専門職大学副学長/音楽文化論・文化政策)

[会場：第1回/リハーサル室、第2回、第3回/コラボしが21 大会議室]

全3回通し券3,000円 1回券(当日残席がある場合のみ販売) 1,500円

●プレトーク・マチネ

公演に先立ち、指揮者、評論家が聴きどころを紹介します。

2022年1月15日(土) 10:30~12:00(予定) [小ホール]

出演：沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督)、岡田暁生(京都大学教授)

司会：館脇 昭(びわ湖ホール総括プロデューサー)

参加費：無料(事前申込不要)

●オペラワークショップ

本番を控えた会場で、演出家がお話しします。

2022年3月6日(日) 9:30~ [大ホール]

出演：伊香修吾(演出家) ほか

参加費：1,000円(『パルジファル』公演チケット提示の方は無料)

びわ湖ホールプロデュースオペラ 全3幕(ドイツ語上演・日本語字幕付)

ワーグナー作曲 舞台神聖祝祭劇『パルジファル』

2022年3月3日(木)・6日(日) 両日とも13:00開演

[大ホール] セミ・ステージ形式

指揮：沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督)

構成：伊香修吾

合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか

管弦楽：京都市交響楽団



福井 敬



クリスティアン・フランツ

SS席20,000円(うち寄付金5,000円) S席11,000(10,000)円 A席9,000(8,000)円
B席6,000円 C席4,000円 U30席(30歳以下)3,000円 U24席(24歳以下)2,000円

※()内は友の会会員料金 青少年割引当日券

友の会優先発売：2022年1月13日(木) 一般発売：2022年1月15日(土)

〈キャスト〉パルジファル以外は、シングルキャスト

パルジファル：クリスティアン・フランツ(3月3日)

福井 敬(3月6日)

アムフォルトス：青山 貴

ティトゥレル：妻屋秀和

グルネマンツ：斉木健詞

クリングゾル：ユルゲン・リン

クンドリ：田崎尚美

聖杯騎士：西村 悟、友清 崇

小 姓：森 季子*、八木寿子、島影聖人*、古屋彰久*

クリングゾルの

魔法の乙女たち：岩川亮子*、佐藤路子*、山際さき佳*、黒澤明子*、谷村由美子*、船越亜弥*

アルトの声：八木寿子

*は、びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

2022年3月のプロデュースオペラは、ワーグナーが遺した最後のオペラ、舞台神聖祝祭劇と銘打たれた『パルジファル』を上演します。これまで『ニーベルングの指環』の演奏などで高い評価を得てきたびわ湖ホール芸術監督 沼尻竜典と京都市交響楽団がワーグナー作品の集大成に挑みます。

連続エッセイ最終回の今回は唯一『びわ湖リング』全てに出演した斉木健詞さんに書いていただきました。

バスにとって最高峰と言うべき役を歌う機会をいただきました。

この役を通してまた成長出来ることが楽しみです。バス歌手 グルネマンツ役 斉木健詞

まず言いたい、びわ湖ホールのロビーから望む琵琶湖の景色が大好きです！

聴衆の皆さんとはいつも作品を共有するという気持ちですが、どうしても観る側と観せる側という立場から離れられません。ですがこの景色の美しさは完全にご覧の皆さんと同じ感動を味わわせてくれます。こんなホールは他に知りません！

『さまよえるオランダ人』ダーラント役以来、びわ湖ホールで歌ったワーグナーは全て自身初のもので、毎回大きく成長させていただきました。中でも『神々の黄昏』ハーゲン役を無観客YouTubeライブ配信で多くの方に観ていただいたことは何物にも替え難い貴重な経験となりました。と同時に、コロナ禍の困難を乗り越え、4年越しの「リング」を完結できたことは全ての関係者との絆をさらに強固にしてくれました。

今回は2021年3月の『ローエングリン』と同様、舞台装置や演技などを極力排したセミ・ステージ形式での上演です。

思えばコロナ禍以前の舞台は、より派手に、より刺激的にすることが喜ばれる風潮にあったのだと思います。しかしソーシャルディスタンスを求められるようになり、「外見でなく内面を表現すること」に重きが置かれるようになりました。それはオペラ本来の魅力を追求することでした。

オペラの魅力を追求する時、必要不可欠なのは楽譜をどう読むかだと思います。

びわ湖ホールで多くのワーグナー作品を演出家ミハエル・ハンベ氏と共に創り上げられたことは幸運でした。彼は楽譜に忠実と評される人です。楽譜には装置など物理的なことも沢山指示されていますが、彼はただ、物や事柄をなぞるのではなく、楽譜から立ち昇る音楽に忠実なのだと感じました。立ち昇る音楽とは何かと言えば「精神」であり「宇宙」であり「愛」なのかなと。

『パルジファル』のグルネマンツ、バスにとって最高峰と言うべき役を歌う機会をいただきました。この役を通してまた成長できることが楽しみです。ぜひ劇場で立ち昇る音楽をご覧ください。



2020年プロデュースオペラ『神々の黄昏』より。左からグンター（高田智宏）、ハーゲン（斉木健詞）、ジークフリート（クリスティアン・フランツ）

Profile 斉木健詞 Saiki kenji

国立音楽大学卒業。同大学院および二期会オペラ研修所修了後、文化庁在外研修員としてボローニャにて研鑽を積む。新国立劇場『カルメン』『タンホイザー』、東京二期会『エフゲニー・オネーギン』、グレーミン公爵『ナブッコ』、ザッカリーア『マクベス』、バンコ、日生劇場『フィデリオ』、ロッコ『ドン・ジョヴァンニ』、騎士長、兵庫県立芸術文化センター『トスカ』、スカルピア『魔弾の射手』、隠者、グランドオペラ共同制作『アイダ』(A.パッティストーニ指揮)ランフィスのほか、NHK交響楽団『サロメ』(C.デュトワ指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団『トゥーランドット』等、数多くの舞台で活躍。びわ湖ホールでは『アイダ』エジプト国王『リゴレット』スバファチーレ『オテロ』ロドヴィーゴ、『さまよえるオランダ人』ダーラント『ローエングリン』ハインリヒ王に出演。『びわ湖リング』では4作品全てに出演、特に『ワルキューレ』フンディング『神々の黄昏』ハーゲンでは高い評価を得ている。近年では2021年東京二期会『魔笛』ザラストロ、『こうもり』フランクに出演。コンサートでも宗教曲や『第九』等のコンサート・ソリストとしても活躍している。二期会会員。

速報

2022年度・自主公演ラインナップを発表。

プロデュースオペラはワーグナーの『ニュルンベルクのマイスタージンガー』
バイロイト音楽祭で上演されるスタンダード10演目の上演を達成！

おもな演目

●プロデュースオペラ

『ニュルンベルクのマイスタージンガー』

2023年3月2日(木)・5日(日)

指揮：沼尻竜典 演出：栗國 淳

●沼尻竜典オペラセレクション

ロッシーニ『セビリアの理髪師』

2022年11月26日(土)・27日(日)

指揮：沼尻竜典 演出：栗國 淳

●マーラー・シリーズ

マーラー交響曲第6番「悲劇的」

2023年3月19日(日) 指揮：沼尻竜典 京都市交響楽団

●びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート2022

2022年12月31日(土) 指揮：未定

●オペラへの招待 ヴェルディ『ファルスタッフ』

2022年7月15日(金)～18日(月・祝)

指揮：園田隆一郎 演出：田口道子



栗國 淳

●オペラへの招待

林 光『森は生きている』

2023年1月26日(木)～29日(日)

指揮：沼尻竜典 演出：中村敬一

〈特別コンサート〉

●アリス＝紗良・オットー

ピアノ・リサイタル

2022年5月21日(土)

〈ダンス〉

●山海塾「かがみの隠喩の彼方へーかげみ」

2022年5月22日(日)



中村敬一

詳しいラインナップは、ホームページで公開しています。

歌劇 竹取物語

Numajiri Ryusuke / Princess KAGUYA

全5景

セミ・ステージ形式

(日本語上演/日本語・英語字幕付)

上演時間:約2時間

初めてオペラを観る方もオペラ通の方も、みなさまにお楽しみいただけるシリーズ「びわ湖ホール オペラへの招待」。今回はびわ湖ホール芸術監督の沼尻竜典が日本最古の物語を原作として自ら台本を作成し、耳なじみがよく親しみやすい音楽で綴った『竹取物語』を自らの指揮で上演します。

前回2015年のびわ湖ホールでの上演では、チケットは完売、観ることができなかった方から再演の希望が数多く寄せられたことから、2020年7月に再演を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から公演は中止、今回ようやく上演することになりました。

指揮：沼尻竜典（びわ湖ホール芸術監督）

原 演 出：栗山昌良

演 出 補：中村敬一

合 唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

管 弦 楽：日本センチュリー交響楽団

装 置：増田寿子

衣 裳：大塚 満

照 明：原中治美

音 響：小野隆浩
(びわ湖ホール)

《出演》

びわ湖ホール声楽アンサンブル

かぐや姫幸田浩子* (1月22日)、砂川涼子* (1月23日)

翁迎 肇聡

媼森 季子

帝松森 治

石作皇子谷口耕平

庫持皇子市川敏雅

安倍御主人平 欣史

大伴御行晴 雅彦*

石上麻呂足美代開太

大将有本康人

月よりの使者八木寿子*

石上麻呂足の使者久保田考揮 (大津児童合唱団)

職人有本康人、古屋彰久、宮城朝陽、

五島真澄、仲田 尋一*、林 隆史

★客演

あらすじ

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて、竹を取りつつ、よろづの事につかひけりー

むかしむかし、竹を取る翁がいた。あるとき翁は光る竹の中に小さな女の子を見つけ、媼とともに大切に育てた。女の子は不思議にも3カ月で輝くばかりの美しい娘に成長し、「かぐや姫」と名付けられた娘の噂は方々に広がった。

そして、殊のほか熱心な5人の男が屋敷に通され妻に迎えたいと申し出る。姫はそれぞれに難題を課し、それを夫婦になる条件としたが、誰一人叶えることはできなかった。

ついには帝までもが心惹かれ、妃にすべくかぐや姫に近づくが、その要求も受け入れられない。帝はせめてもとして歌のやりとりを望み、姫はこれを約束する。

帝と心を通わせて3年が経とうとした頃、かぐや姫は月を見ては悲しげな顔をするようになった。かぐや姫は、自分が月の都の者であり、次の十五夜に月から迎えがくることを打ち明ける。翁は、帝の軍勢にこれを阻止するよう懇願するが、月の使者の前になす術もなく、帝への手紙と不死の薬を残してかぐや姫は月へ帰ってしまう。

残された帝は、不死の薬を返すべく多くの兵を引き連れて、この世で一番高い山で薬を焼き、それ以来この山は富士の山と呼ばれるようになった。



指揮/沼尻竜典



かぐや姫(22日)/幸田浩子



かぐや姫(23日)/砂川涼子



帝/松森 治



翁/迎 肇聡



媼/森 季子



月よりの使者/八木寿子



大伴御行/晴 雅彦



びわ湖ホール声楽アンサンブル

びわ湖ホール オペラへの招待

沼尻竜典作曲 歌劇『竹取物語』

2022年1月22日(土)・23日(日) 各日14:00開演 [大ホール]

SS席8,500(8,000)円 S席7,000(6,500)円 A席5,500(5,000)円

B席4,000円 C席3,000円 青少年(25歳未満/S~C席)2,000円

シアターメイッツS~C席1,000円

※()内はびわ湖ホール友の会会員料金



チケット発売中

沼尻竜典『竹取物語』を語る



指揮/沼尻竜典

台本・作曲・指揮 沼尻竜典が語る『竹取物語』への想い

歌劇『竹取物語』は、「横浜とハノイで新作オペラを上演する」という、横浜みなとみらいホールプロジェクトのために作曲しました。台本も私が担当しています。日越双方で親しまれているものはなんだろう？ と考えた結果、原作には「竹」が重要な役割を果たす「竹取物語」を選びました。

日本最初の小説と言われている「竹取物語」は、さまざまなヴァージョンで広く知られています。ただ、原作は登場人物がかなり多いので、冗長さを避けるため、かぐや姫と帝の愛を中心に構成しました。音楽は私が子どものころ慣れ親しんだキャンディーズ、山口百恵、沢田研二など、昭和の歌謡曲を意識しており、いわゆる「現代音楽」ではない、子どもから大人まで親しめるオペラを目指したつもりです。

この物語には、かぐや姫に結婚を申し込む5名の男性が出てきます。ナルシスト、お金さえあれば幸せになれると思っている人など、いつの時代にもいそうな人たちです。それらのキャラクターは、当時の権力者たちへの皮肉だと言われています。最後にかぐや姫が月に帰る場面は、いまのSF映画を先取りしていて、その先進性には驚かされます。

リラックスして楽しんでいただければ幸いです。

びわ湖ホール声楽アンサンブル NEWS

トピックス!

船越亜弥 第90回日本音楽コンクール 声楽部門を制す ジルヴェスター・コンサートでその歌声を披露!!

2021年の3月までびわ湖ホール声楽アンサンブルに所属し、現在はびわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーのソプラノ歌手、船越亜弥が、日本最高峰の第90回日本音楽コンクール(主催:毎日新聞社・NHK)の声楽部門で約130名の出演者をおさえ第1位を獲得しました。

声楽部門は「オペラ・アリア」で選考され、第1次、第2次の予選を通過した6名によって、10月26日、東京オペラシティコンサートホールで本選が行われました。

船越は、ワーグナー:歌劇『ローエングリン』より エルザの夢“寂しい日々”に神に祈った”、ワーグナー:歌劇『タンホイザー』より “おごそかなこの広間よ”の2曲を現田茂夫指揮、東京フィルハーモニー交響楽団と共演し、大きな拍手を受けました。

12月31日のびわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート2021に、オペレッタ『ジプシー男爵』(抜粋)ザッフィ役で出演します。どうぞご期待ください!



船越亜弥

びわ湖ホール声楽アンサンブル フォーレ作曲「レクイエム」

2021年10月の〈オペラへの招待〉ブッチーニ作曲 歌劇『つばめ』を成功に導いた園田隆一郎を指揮に迎え、フォーレの「レクイエム」を取り上げます。

モーツァルト、ヴェルディと並び、「三大レクイエム」と称されるフォーレの代表作で、死を「永遠の至福と喜びに満ちた解放」と考えた、聴く者を精神の浄化に導く繊細で美しい音楽は、多くの人々に愛されています。

今回は、2020年10月に初演された信長貴富による原典に忠実な小編成のための編曲版で演奏します。



園田隆一郎

第74回定期公演 2022年 3月26日(土) 14:00開演 【びわ湖ホール 大ホール】
米原公演vol.2 2022年 3月27日(日) 14:00開演 【滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール】

指揮:園田隆一郎

[プログラム]フォーレ/信長貴富編曲:レクイエム ニ短調 op.48 ほか

第74回定期公演:一般3,000(2,500)円 青少年(25歳未満)1,500円 友の会優先発売:2022年2月4日(金) 一般発売:2022年2月6日(日)

米原公演vol.2:一般2,500円 青少年(25歳未満)1,500円 ※()内は友の会会員料金

「日本合唱音楽の古典VI」レポート 2021年10月30日(土) 文化産業交流会館、2021年11月6日(土) びわ湖ホール 2021年11月7日(日) 東京文化会館

滋賀県在住の詩人の詩に曲を付けた委嘱新作の「年を忘れた少年の歌」(作詩:森 哲弥、作曲:寺嶋陸也)を初演しました。

作曲の寺嶋はびわ湖公演と東京公演に駆け付け「この仕事を通じて、森さんのたいへんすばらしい詩に出会ったことが、曲の誕生への大きな原動力になりました。10月に一度練習に立ち会わせていただき、『もうちょっとこうしたら』といったことを伝えたら、とても良い感じになっていて、驚いています」と話しました。

また、びわ湖ホール公演に来場した作詞の森氏は「(作品の)全体で聴くと、普段とは違った心の動きを感じました。僕の詩に作曲していただけたとは、夢にも思っていなかったし、こんな曲をつけていただいて、たいへん、うれしく思っています」と感想を述べられました。



11月7日 東京文化会館 小ホール



オペラへの招待 プッチーニ作曲 歌劇『つばめ』

10月8日(金)、9日(土)、10日(日)、11日(月) [中ホール]



圧倒的な歌唱を聴かせた中村恵理と同日ともにルッジェーロ役を歌った谷口耕平

“初めてのオペラ”を体験するのにうってつけのシリーズとして定着しているくオペラへの招待は、これまで名作オペラを数多く上演してきました。今回は、イタリアの大作曲家プッチーニの知られざる名作『つばめ』を伊香修吾の演出、園田隆一郎の指揮で取り上げました。

キャストは世界的に活躍するプリマドンナ中村恵理とびわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーがダブルキャストで務め、主役のマグダには中村と山田知加、そして相手役のルッジェーロは谷口耕平が全日務めました。

伊香は、物語の設定を1920年代に移し、当時の映画とイメージをリンクさせて、衣裳等を作りました。舞台前面には紗幕を張り、進行に応じたイメージの映像を写しました。

今号の表紙となったルッジェーロがマグダと自転車に乗り、パリを案内する、いわば住む世界が違う2人の邂逅を示す場面など、粋な読み替え演出も作品の奥行きを増す効果を生みだしました。



若々しい存在感によってオペラ全体を牽引した山田知加



モノクロの映像を巧みに用い20年代のパリの刺激と喧騒を表現した。



主人公たちと対照的な世界をコントラスト豊かに描き、作品全体に豊かな彩りを加えたブルニエ(古屋彰久)とリゼット(脇阪法子)

中村は世界水準の演技と歌によって、舞台上で圧倒的な存在感を示しました。一方、山田は「中村さんに刺激を受けた」と影響を認めながらも、充実した歌と演技に加えて、若さゆえの感情の発露などで独自の存在感を見せることに成功しました。

現在日本におけるイタリアオペラの上演で最も信頼できる指揮者の一人、園田隆一郎は、プッチーニの後期作品の特徴である巧みなオーケストレーションと洗練されたメロディを歌手と管弦楽から引き出しました。また全体を包むワルツの振り分けなど、歌心に溢れた作品の核心を捉えた指揮で『つばめ』の魅力を聴衆に示しました。

「つばめ」お客様の声



公演はいかがでしたか。

歌も踊りも素敵だと思いました

「以前は『魔笛』など、よく見ていたのですが、娘が「久しぶりにオペラを見たい」というので来ました。この作品については知らなかったのですが、大人の話で、素敵なオペラだと思いました」(秋田安代さん/写真右)

「吹奏楽部だったので、普段はピアノとクラリネットを演奏しています。とてもよかったです。歌も踊りも素敵だと思いました。また来たいです」(秋田紗歩さん)

シアターメイツは、みんなを待っています

1月から3月には、注目の合計4公演が優待公演となっています。みんなに劇場で会える日を楽しみにしてね。

入会金・年会費
無料

1～3月の優待公演

- (名曲コンサート)華麗なるオーケストラの世界vol.4 鈴木優人指揮 日本センチュリー交響楽団
名曲をフルオーケストラで楽しんでいただく演奏会です。
2022年1月8日(土) 15:00開演 [大ホール]
シアターメイツ料金750円 (詳しくは7ページ) **チケット発売中**

- オペラへの招待 沼尻竜典作曲 歌劇『竹取物語』
誰もが知る「かぐや姫」の物語を親しみやすい歌に溢れたオペラ作品に仕上げています。
2022年1月22日(土)・23日(日) 両日とも14:00開演 [大ホール]
シアターメイツ料金1,000円 (詳しくは4～5ページ) **チケット発売中**

- (名曲コンサート)竹澤恭子(ヴァイオリン)・宮田 大(チェロ)・田村 響(ピアノ) ピアノ三重奏
世界で活躍する3人の演奏家が一堂に会した豪華な演奏会。演奏曲は、ピアノ三重奏曲の定番、チャイコフスキー作曲 ピアノ三重奏曲イ短調「偉大な芸術家の思い出に」op.50 などを演奏します。



竹澤恭子

- 2022年2月6日(日) 14:00開演 [大ホール]
シアターメイツ料金500円 **チケット発売中**

- 野村万作・野村萬斎狂言公演

びわ湖ホールで大人気の狂言公演。野村萬斎はNHK・Eテレ「にほんごであそぼ」やCM出演などでもお馴染み。父の人間国宝 野村万作とともに至高の、それでいてわかりやすく楽しい狂言をお届けします。普段、触れることの少ない伝統芸能を間近で見るチャンス。

2022年3月12日(土) 13:00開演 / 17:00開演(2回公演) [中ホール]
シアターメイツ料金2,000円

友の会優先発売:2022年1月21日(金) 一般発売:2022年1月23日(日)



野村万作



野村萬斎



びわ湖ホールシアターメイツ特別顧問
にゃんばら先生 ©飯田佳奈子

「シアターメイツ」は、子どもの頃から上質な舞台芸術に親しんでいただくため、びわ湖ホールで設けている制度です。6～18歳までならどなたでもお申し込みいただけます。コンサートをもっと楽しめる数々の特典を用意!

印の公演はシアターメイツ優待公演です。

特典1

～さまざまな公演を体験しよう～
上質な舞台公演を特別価格で
シアターメイツ優待公演は、青少年料金のさらに半額で!チケットをお求めいただけます。

特典2

シアターメイツ限定イベントへの参加
会員限定で稽古見学会や
リハーサル見学会を企画しています。

特典3

公演を楽しむための
劇場マスターブックを
プレゼント。

「これで劇場マナーもばっちり!」



びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート2021

次期芸術監督の阪 哲朗が登場。

新年恒例の「NHKニューイヤーオペラコンサート」も指揮、びわ湖ホール声楽アンサンブルも出演。

大晦日恒例のジルヴェスター・コンサート。今年度も昨年度に続いて昼開催となります。指揮は、2023年度からびわ湖ホール芸術監督に就任予定の阪 哲朗が前回に続き登場します。テーマは「ウィーン」。

阪の約20年にわたる海外での活躍はウィーン留学から始まりました。ドイツ語圏の劇場で活動する指揮者はオペレッタのレパートリーは必須です。得意の〈ジプシー男爵〉の指揮にご注目ください。

また、〈ジプシー男爵〉では、先般の日本音楽コンクールで、見事に1位に輝いた船越亜弥が、主役のザッフィを歌うのも話題となっています。

国内外で活躍するヴァイオリンの三浦文彰が弾くクライスラーの名曲にもご注目ください。

1月3日(月)19:00から東京芸術劇場で開催、NHK・EテレとNHK・FMで生中継される日本を代表する歌手たちが出演する「NHKニューイヤーオペラコンサート」の指揮も阪が務めます。福井 敬、森谷真理、石橋栄実、砂川涼子、黒田 博、妻屋秀和など、びわ湖ホールでもお馴染みの歌手、そしてびわ湖ホール声楽アンサンブルも出演します。



阪 哲朗



三浦文彰

びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート2021

指揮:阪 哲朗 ヴァイオリン:三浦文彰 司会:桂 米園治
出演:船越亜弥(ソプラノ)、益田早織(メゾ・ソプラノ)
島影聖人(テノール)、迎 肇聡(バリトン)
管弦楽:大阪交響楽団
独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル
構成・台本:中村敬一

[曲目]クライスラー:愛の喜び、愛の悲しみ
美しきロスマリナ、中国の太鼓
J.シュトラウスII世:ハンガリー万歳
オペレッタ<ジプシー男爵>より
沼尻竜典:歌劇<竹取物語>より ほか

豪華賞品が当たる抽選会もあります。

2021年12月31日(金) 15:00開演 【大ホール】

S席7,000(6,500)円 A席5,500(5,000)円
B席4,000円 C席3,000円
青少年(25歳未満)S~C席2,000円 SS席取扱終了
※()内は友の会会員料金 チケット発売中

びわ湖ホールの2022年は、鈴木優人の指揮と ソロ・リサイタルの「二刀流」から始まります。

鈴木優人は、オルガン、チェンバロ、ピアノなどの演奏家、指揮者、作曲家、研究者など様々な分野で才能を発揮し、またテレビ番組「題名のない音楽会」やNHK-FM「古楽の楽しみ」などに出演するなど、幅広い活動を行っています。

びわ湖ホールはこの多才さに着目しました。2022年1月8日に、バッハのブランデンブルク協奏曲とシューベルトの交響曲第8番「ザ・グレート」を日本センチュリー交響楽団で指揮し、その翌日には、チェンバロのソロ・リサイタルという「二刀流」の公演を行います。

鈴木は「シューベルトの交響曲は、歌心に満ちたメロディーに溢れ、独特のユーモアや皮肉なども感じ取れ、同時代のベートーヴェンの影響を受けた面もある素晴らしい作品」と指揮する作品について語り、ソロ・リサイタルでは「今回は、私も琵琶湖へ旅するので、旅をテーマにし、リサイタルでは、バッハやフローベルガーの旅にまつわる作品や野平一郎さん、武満さんの作品などを演奏します」と語ります。本人も初めてという「二刀流」のコンサート、どのようなものになるか、是非会場でお聴きください。



鈴木優人

名曲コンサート 華麗なるオーケストラの世界vol.4 鈴木優人指揮 日本センチュリー交響楽団

指揮・チェンバロ:鈴木優人 管弦楽:日本センチュリー交響楽団
[曲目]J.S.バッハ:ブランデンブルク協奏曲 第5番 BWV1050
川久保陽紀(ヴァイオリン)、上野星矢(フルート)
シューベルト:交響曲第8番 八長調 D944 「ザ・グレート」

2022年1月8日(土) 15:00開演 【大ホール】

S席4,000(3,500)円 A席3,000(2,500)円 B席2,000円
C席1,000円 青少年(25歳未満)S席~B席1,500円
シアターメイッツS~B席750円
※()内は友の会会員料金 チケット発売中

古楽への招待 鈴木優人 チェンバロ・リサイタル

[曲目]J.S.バッハ:フランス組曲第4番BWV815
最愛の兄の旅立ちのためのカプリッチョ
半音階的幻想曲とフーガ ニ短調BWV903
野平一郎:ランコントロ
武満 徹:夢見る雨
フローベルガー:ライン川を渡りながら作曲したアルマンド
ほか

2022年1月9日(日) 15:00開演 【小ホール】

一般3,000(2,500)円 青少年(25歳未満)1,500円
※()内は友の会会員料金 チケット発売中

NEWS

— ENEOS音楽賞 授賞式が行われました —

ENEOSホールディングス株式会社が、音楽文化の発展、向上に大きく貢献した個人または団体に贈る「ENEOS音楽賞」。2021年は洋楽部門で「滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールと沼尻竜典」が洋楽部門本賞を受賞しました。

その授賞式が、2021年11月19日に東京都内で行われ、館長の山中 隆、芸術監督の沼尻竜典が出席。山中は「今回は創設以来の劇場の運営そのものに対して評価をいただいたということで、私をはじめ、職員一同、大変感激しております」と受賞のコメントを述べました。



授賞式より 左より:山中、沼尻

● 舞台技術研修「成果発表公演」

舞台技術研修は、舞台技術を担う人材の育成を目的として開催しているものです。連携大学の学生が、授業の一環として舞台技術や作品作りのノウハウを学び、映像・舞台装置・衣裳等のデザインから製作までを行い、全国から募集した舞台技術者とともに一つの作品を作り上げます。

ミュージカル「人魚姫」

研修の成果発表として、今年度は、アンデルセンの名作童話「人魚姫」をテーマにミュージカルを制作・上演します。

人間の王子様に恋をしてしまった人魚姫の切なく美しい純愛の物語が、舞台技術を通してどのように描かれるのか、お楽しみに！

2022年3月19日(土)
14:00開演
[中ホール]

大人1,000円
子ども(4歳~中学生)500円
チケット発売:
2022年2月10日(木)
4歳以上入場可



2020年度、成果発表公演「不思議の国のアリス」より

びわ湖の午後60

佐藤晴真 チェロ・リサイタル

佐藤晴真は、2019年ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初優勝、名門ドイツ・グラモフォンから2枚のCDをリリースしています。内外のオーケストラとの共演やリサイタルなどを行い、高い評価を受けています。びわ湖ホールでは「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2019」に続く登場となります。

出演: 佐藤晴真(チェロ)、加藤昌則(ピアノ)

[曲目] メンデルスゾーン: チェロ・ソナタ第2番 二長調 op.58

ショスタコーヴィチ: チェロ・ソナタ ほか

2022年3月20日(日)
14:00開演
[小ホール]

一般4,000(3,500)円
青少年(25歳未満)1,500円
※()内は友の会会員料金
友の会優先発売: 2022年2月3日(木)
一般発売: 2022年2月5日(土)



佐藤晴真

● 気軽にクラシック

実力派アーティストの演奏による約1時間のコンサート。クラシック音楽の楽しさを満喫できる、文字どおり気軽に楽しめる公演をお届けします。

心に深く響くバス 松森 治

2021年1月『魔笛』ザラストロ役、7月の『カルメン』スニガ役を好演したびわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。「声」の中でもひときわ深く豊かに響くバスの音色を存分にお届けします。

出演: 松森 治(バス)
掛川歩美(ピアノ)

[曲目] マルティニ: 愛の喜び
シューベルト: 菩提樹、セレナーデ
マ ス ネ : オペラ『ドン・キホーテ』より
「我は遍歴の騎士」
沼尻 竜典: 歌劇『竹取物語』より「帝のアリア」 ほか



松森 治

2022年2月19日(土) 14:00開演 [小ホール]

一般1,000円
友の会優先発売: 2022年1月7日(金) 一般発売: 2022年1月9日(日)

春風にのせて ソプラノ 黒田恵美

びわ湖ホール声楽アンサンブル時代から、数々のヒロイン役を務めてきた黒田恵美。清らかなソプラノの歌声で贈る春の楽しいひとときをどうぞお楽しみください。

出演: 黒田恵美(ソプラノ)
植松さやか(ピアノ)

[曲目] モーツァルト: オペラ『羊飼いの王様』より
「彼女を愛そう」
團伊玖磨: オペラ『夕鶴』より
「与ひょう、私の大事な与ひょう」
ドニゼッティ: オペラ『連隊の娘』より「身分も富も〜フランス万歳」
ドリーブ: カデイスの娘たち
山田耕作編曲: さくらさくら、中国地方の子守唄 ほか



黒田恵美

2022年3月13日(日) 14:00開演 [小ホール]

一般1,000円
友の会優先発売: 2022年1月7日(金) 一般発売: 2022年1月9日(日)

TOPICS



ナイトクルージングの船内から見たびわ湖ホール



「音楽のともしび」点灯風景



来館されたさだまささん(写真左)、西川貴教さん(写真右)、また、三日月大造知事も参加

びわ湖ホール「希望の灯」

2021年10月8日から11月29日までの46日間、びわ湖ホール正面と、大ホール、中ホールのホワイエからびわ湖を望む湖岸遊歩道のライトアップを行いました。正面のライトアップは、照明デザイナーによって選ばれた4色が18時の点灯から21時まで刻々と変化する様子を立ち止まった多くの人々が写真に収めていました。

同時に湖岸遊歩道は、いつもは街灯が少なく、暗闇の中でウォーキングやジョギングをする人々も多く見られましたが、このライトアップで街路樹に取り付けた昼光色の柔らかな光の照明が、遊歩道を照らしました。「びわ湖ホールの正面がいろんな色に変わるの、すごかった。なぎさ公園もオシャレな灯が点いていて、とても綺麗でした」という声をいただきました。

また、11月8日からは「音楽のともしび」を実施し、近隣保育園の子どもたちと来館いただいたお客様、アーティストの方々に作成いただいた「あかりのシェード」を中ホール前の広場に設置し点灯しました。親子で会場を訪れ、自分の描いたシェードを探し出して「きれいに光っていてよかった」と喜ぶ子どもたちの姿も見られました。

さらにオペラへの招待 歌劇『つばめ』公演とコラボした限定企画、びわ湖ホールナイトクルージングも行い参加者から「すばらしいオペラを観たあとで、思いがけずナイトクルージングにも。美しい夜景、美しいびわ湖ホール。滋賀に住めたことをうれしく思います」と感想を寄せていただきました。



びわ湖ホール 正面のライトアップ



湖岸遊歩道を照らすライティング

「びわ湖ホール友の会」 会員募集中

一般会員

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスを提供いたします。

[一般会員]
年会費2,500円(税込)
[クレジット一般会員]
年会費2,423円
(クレジットカード年会費1,375円含・税込)
お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136



サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待、オペラ公演のゲネプロ(総稽古)へのご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費 一口につき10,000円(税込)
お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、これを支援して下さる企業・個人様向けの会員制度です。

□主催公演へのご招待 □チケット優先予約・無料郵送 □ゲネプロへご招待
□情報誌やホームページへの会員名掲載 □メインロビーへの会員名掲示
□「湖国と文化」年間購読で1冊サービス など

詳しくはホームページをご覧ください。

年会費 一口につき100,000円(税込) 入会金不要

《特別会員》のみなさま

お問い合わせ びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140

アマノマネジメントサービス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/株式会社アルファス/一園テクノス株式会社/磯田 洋三/いなみ矯正歯科/上原恵美/エラスペンサー株式会社/株式会社栄光社/SMBC日興証券株式会社大津支店/NTT西日本 滋賀支店/近江銀行株式会社/大岸 実/大谷 蔵公認会計士事務所/大津商工会議所/岡崎 洋一/おかもと眼科クリニック/株式会社奥田工務店/オブテックスグループ株式会社/オリックス・ファシリティーズ株式会社滋賀支店/株式会社関西みらい銀行/木村水産株式会社/京都信用金庫滋賀本部/京都橋大学/株式会社きんでん滋賀支店/株式会社キントー/草津電機株式会社/granlumieグラルミエ/京滋舞台芸術事業協同組合/京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社 琵琶湖ホテル/甲賀高分子株式会社/小高得央/株式会社コングレ/株式会社笹川組/さざなみ法律事務所/株式会社佐藤総合計画関西事務所/三精テクノロジーズ株式会社/株式会社三東工業社/株式会社しがらみ経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県信用金庫協会/滋賀トヨペット株式会社レクス大津/滋賀ヤサカ自動車株式会社/株式会社自然総研/株式会社十字屋/公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和バルブ製作所/株式会社スマイ印刷/学校法人純美禮学園/成安造形大学/瀬田医院/ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場/株式会社ダイフク滋賀事業所/大和証券株式会社京都支店/高坂哲夫/タカヒサ不動産株式会社/株式会社 淡海/ちばレディースクリニック/塚本社会保険労務士事務所/株式会社DGコミュニケーションズ/株式会社天下一品/東洋ワークセキュリティ株式会社/西川 望/日新薬品工業株式会社/株式会社ニッセイコム/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナンス株式会社/日本メンテナンス株式会社大津支店/株式会社ネットワークエンジニアリング/野村證券株式会社大津支店/パウ・クリエイト株式会社/長谷川公認会計士事務所/パナソニックLSエンジニアリング株式会社近畿支店/羽泉 正浩/公益財団法人ハナハ文化振興財団/株式会社日立建機ティエラ/株式会社ビルディング・コンサルタントワイズ/びわ湖大津プリンスホテル/琵琶湖汽船株式会社/びわこ成蹊スポーツ大学/びわ湖放送株式会社/ふくた診療所/藤井 純子/富士通 Japan株式会社/兵神装備株式会社滋賀事業所/ホテルテトラ大津/京都/ホテルブルーレーク大津/増山公昭/株式会社松村電機製作所関西支店/豆藤/株式会社みずほ銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/宮川印刷株式会社/music square 芝蘭会/株式会社村田製作所野洲事業所/八百久/山科精器株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/税理士法人山本会計/ヤンマーグローバルエキスパート株式会社/横田昌和公認会計士事務所/立命館山中学校・高等学校/龍谷大学吹奏楽部/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール/渡辺 朗夫

(五十音順・敬称略・一部非掲載/2021年11月28日現在)

舞台芸術の力でみなさまに感動と笑顔をお届けしたい! ~舞台芸術創造活動にみなさまのご支援を~

びわ湖芸術文化財団は『びわ湖ホール』『文化産業交流会館』を拠点に、誰もが身近に舞台芸術に触れられるよう、様々な事業を展開しております。質の高い舞台芸術を創造し、より多くの方にお楽しみいただくためには、関係者の熱意とたゆめ努力はもろろのこと、皆さまの深いご理解とご支援が必要です。コロナ禍で今後の推移が見通せない中、公演中止や入場制限による収益機会の減少などにより、びわ湖芸術文化財団の経営環境は厳しい状況が続いています。引き続き高水準の舞台芸術を発信していくために、あたたかいご支援をお願いいたします。当財団へのご寄付については、税金の優遇措置がございます。ウェブサイトからも手続きいただけますので、ぜひこの機会に、みなさまのご支援をお願いいたします。

お問い合わせ びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140

詳しくは、びわ湖ホールホームページをご覧ください。https://www.biwako-hall.or.jp/

代表銘菓
こだわり小豆の
やさしい味わい

かのう しょう じゅ あん
叶匠寿庵
〒520-2266 滋賀県大津市大石龍門4-2-1
TEL.077-546-3477(代) FAX.077-546-3480
https://kanou.com

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー: 株式会社 叶匠寿庵

はずむ心のお買物戸

平和堂
〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
TEL (0749) 23-3111 FAX (0749) 23-3118
URL https://www.heiwado.jp/

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー: 株式会社平和堂

新築・リフォーム・マンションリフォーム

住まいのご相談は、お気軽にお問い合わせください。

木の家専門店
谷口工務店
0120-561-099
〒520-2531 滋賀県蒲生郡竜王町山之上 3409

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー: 株式会社 木の家専門店 谷口工務店

びわ湖ホールをご利用ください

びわ湖ホールでは、客席数約1,800席の音響効果に優れた大ホール、約800席で演劇向きの中ホール、約300席でアットホームな演奏会に適した小ホールのほか、リハーサル室、練習室、研修室をお貸ししております。音楽、演劇、舞踊など舞台芸術の公演や練習、各種大きな催し等にもご活用ください。

琵琶湖が見渡せるメインロビーのラウンジで休憩やお食事はいかがでしょうか。レストランもございます。

びわ湖ホールには、800台余りの駐車場も併設しております。24時間営業で、公演でのご利用に限らずいつでもご利用いただけます。また、月15,000円の定期券もございます。ぜひご利用ください。

お申込み・料金・空き状況などのお問い合わせは、びわ湖ホール管理部まで
TEL.077-523-7135

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

当館の古典芸能の中軸事業は芝居小屋「長栄座」公演ですが、あわせて古典芸能に携わる人材の育成に力を注いでいます。「長栄座」公演はその集大成であり、背景にはそれを支える地道な活動があります。今回はその活動にスポットをあて、ご紹介します。

人材育成の流れ

親子で楽しむ日本の伝統芸能

対象 小学生&保護者・一般

講師 林家染太(落語)
花柳緑春奈(日本舞踊)
日原暢子(箏)

開催時期 8月

落語・日本舞踊・箏の3つの分野で開催し、「はじめての伝統芸能ワークショップ」と「講師による芸の披露」の2本立て。

講師のわかりやすいワークショップの後に、プロの芸を観ることもでき、初めて伝統芸能に触れていただくには絶好の企画です。子どもから大人まで大変人気のある事業で、リピーターも多数!



林家染太



花柳緑春奈



日原暢子



古典芸能キッズワークショップ(日本舞踊・箏)

対象 小学校1年生～6年生

講師 (日本舞踊) 花柳風春、花柳風弥
(箏) アドバイザー: 片岡リサ

講師: 田中久美子、橋本桂子、田中千鶴、島田彩寧

開催時期 8月～11月

日本舞踊と箏の2分野で開催。2011年(平成23年)からスタートし、2021年で10周年を迎えました。「親子で楽しむ日本の伝統芸能」等で興味を持った子どもたちが参加し、先生の指導のもと研鑽を積んでいます。舞踊や演奏の技術だけではなく、挨拶等の作法や所作も身に付けていきます。稽古の努力は、「成果発表会」として結実。このワークショップを機に、先生のもとにお稽古に通う受講生も増えています。また、2021年の「長栄座伝承会 むすひ」公演にはキッズワークショップ(日本舞踊)の修了生が出演し、堂々の演舞姿を披露しました。



花柳風春



田中久美子



他にも「古典芸能」企画が盛りだくさん!

和のじかん

派遣アーティスト

片岡リサ(箏)
吉澤延隆(箏)
ゆらぎ
(伊藤志野: 箏
岩本みち子: 尺八)

派遣期間

11月～2022年1月

滋賀県の小・中学校に邦楽のアーティストが出向き、教室や音楽室で演奏を行う事業です。子どもたちに邦楽に触れる機会を持ってもらうと同時に、和楽器の仕組みや成り立ちなども知り、和の文化への関心を高めてもらうことを目的としています。募集開始後、学校からの応募が殺到した大人気事業です。



学校での様子



吉澤延隆

邦楽実演家養成事業
修了演奏会

日時

2022年
2月11日(金・祝)
14:00開演

場所

小劇場

入場料

無料・要整理券
(会館窓口&電話にて受付)

ただの成果発表と思うなかれ! 古典からJAZZ風の作品まで、多彩なラインアップを披露します。「箏って、こんな表現ができるの?」と驚くこと間違いなしです。尺八2本立ての珍しい楽曲もあります。どうぞ、お見逃しなく。

演奏曲

旅路(野村正峰 作曲)
明治松竹梅(菊塚校校 作曲)
都踊(宮城道雄 作曲)
典雅(野村祐子 作曲)
迦楼羅(池上眞吾 作曲)
箏のための組曲(石冢真礼生 作曲)
地下室のメロディー(市川慎 作曲)

客演

尺八: 川崎貴久
饗庭凱山

NHK
「上方演芸会」
公開録音

当館では、NHKや滋賀県と協働し、ラジオの「上方演芸会」の公開収録を行います。関西のお笑い芸人による漫才、漫談など、上方ならではの話芸の数々をお届けします。ぜひ、この機会に上方の話芸をお楽しみください。

日時

2022年1月28日(金)
18:30開演(18:00開場)

会場

滋賀県立文化産業交流会館

出演

大木こだまひびき、シンクタンク、女と男ほか

公開録音観覧申込

当館の
ウェブサイトへ
ご覧ください



箏曲ジュニア・アンサンブル

対象 小学生～中学生

講師 片岡リサ

開催時期 8月～11月

「古典芸能キッズワークショップ」の箏部門で稽古を重ねたメンバーからの「小学校を卒業しても、お箏の稽古を続けたい」との熱い要望からスタートした、次のステップを目指すための事業



片岡リサ

です。2021年は「キッズワークショップ」を修了した小学生、中学生、そして卒業生として高校生が参加しています。緊急事態宣言で合同稽古ができなかった期間もありましたが、講師がYouTubeに上げた稽古動画を観ながら稽古をするなど、工夫も重ねてスキルアップに励みました。また、大学等の専門機関で邦楽を学びたいという受講生もいるなど、意欲的で今後の活躍が楽しみな事業です。



邦楽専門実演家養成事業 (箏・十七絃・三弦)

対象 大学生～一般

監修 久保田敏子

講師 野村祐子、池上眞吾、片岡リサ、吉澤延隆

開催時期 9月～2月

プロを目指す演奏者を育てる目的で、「長栄座」開設と同年の2011年(平成23年)からスタートした長寿事業で、2021年で10周年を迎えました。お箏の経験者という条件はありませんが、受講者を広く一般から募集しています。



池上眞吾

様々な流派の講師の指導を仰げるのが人気の秘訣のようで、名古屋、大阪、岡山などから新幹線で通う受講生も数多くいます。2020年から、35歳までの若手演奏者のための「ユース」コース、さらに今年は新たに「特別集中レッスン」コースを設け、系統立てた指導が行われています。2022年2月11日(金・祝)には、当館の小劇場にて「修了演奏会」を行います。(P10左下参照)



滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」 (箏・十七絃・三弦)

対象 「邦楽専門実演家養成事業」修了生登録メンバー

指導 野村祐子 他

開催時期 「長栄座」公演時

「邦楽専門実演家養成事業」を修了したメンバーの中から、「しゅはり」として登録して演奏活動を行っています。「しゅはり」はこれまで、数多くの「長栄座」公演に出演してきました。来年度以降は、「長栄座」公演だけでなく、滋賀県内の文化ホールや、県外にも活動の幅を広げていきたいと企画を検討中。将来的には、滋賀県の「邦楽アンサンブル」として発信していきたいと考えています。乞うご期待!



野村祐子



地域創造部情報

滋賀県アートコラボレーション事業

おうみ狂言図鑑2022 「聖問答」

滋賀・近江を題材にした「おうみ狂言図鑑」シリーズ。今回は、近江にも伝承が残る寺社が数多く存在する「聖徳太子」を題材に、人気の劇作家、堀越涼が新作狂言を執筆します。わかりやすい解説付きで、狂言がはじめての方にもおすすめです。

日時・会場・演出

①2022年1月16日(日)

14:00開演(13:00開場)

草津市立草津クリアホール

(草津市野路6丁目15-11)

[演出] 古典: 柿山伏/墨塗 新作: 聖問答



②2022年1月29日(土)

14:00開演(13:00開場)

東近江市立八日市文化芸術会館

(東近江市青葉町1-50)

[演出] 古典: 瀧さ川/附子 新作: 聖問答

③2022年2月5日(土)

14:00開演(13:00開場)

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール中ホール

(大津市打出浜15-1)

[演出] 古典: 蚊相撲/金藤左衛門 新作: 聖問答

出演 茂山千五郎家

入場料 一般2,000円 青少年(25歳未満)1,000円 ※未就学児入場不可

①全席自由 ②③全席指定

チケット発売中

お問合わせ (公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部 077-523-7146

滋賀県アートコラボレーション事業

「ドラゴンクエストコンサート IN HIGASHIOMI」

すぎやまこういち作曲のドラゴンクエストのシンフォニックな世界観が、吹奏楽作編曲の第一人者の真島俊夫により、最高峰の吹奏楽に仕上げられたコンサートです。

日時 2022年3月5日(土)

15:00開演(14:30開場)

会場 東近江市立八日市文化芸術会館

(東近江市青葉町1-50)

出演 指揮: 西村 友

演奏: Osaka Shion Wind Orchestra

入場料 一般 前売5,000円 当日5,500円

25歳未満 前売4,000円 当日4,500円

※全席指定、未就学児入場不可



チケット発売中

湖国と文化 2022年 冬 vol.178

特集 芭蕉と近江～俳聖の誕生

伊賀に生まれ、晩年旅に生きた芭蕉。近江に通算1年ほど滞在し、心のふるさとと呼んだ大津に眠ることを望みました。義仲寺寺宝「芭蕉翁絵詞伝」のカラーグラビアなどを通して、芭蕉にとっての近江を探ります。

〈販売価格〉660円 1月1日発行予定

〈取り扱い〉県内書店、びわ湖ホールシアターショップ など

〈お問合せ・購入申込〉びわ湖芸術文化財団 地域創造部

「湖国と文化」編集室(077-523-7146)



劇場・舞台芸術の力

サントリーホールディングス(株) 元代表取締役副社長
独立行政法人日本芸術文化振興会 元理事長
公益財団法人 びわ湖芸術文化財団 評議員

海外では、多くの大学やコンサートホールが観光名所になっています。例をあげると英国のオックスフォード大学やケンブリッジ大学、パリ・オペラ座、ボストン・シンフォニーホールなどでしょう。残念ながら日本では観光名所となるような大学やコンサートホールはほとんどありません。

びわ湖ホールは湖畔の立地と合わせ、ホワイエから見るびわ湖の景色の雄大さで来館者を満足させます。よく似た立地のシドニーオペラハウスが世界文化遺産になったことを考えるとびわ湖ホールは将来有望です。

東京や阪神間に比べるとびわ湖ホールの hinterland(都市の周辺)の音楽ファン層は少ないでしょう。それでも毎回満席に近い集客率の高さは、上演されるパフォーマンスの質の高さを証明しています。

そして、このコロナ禍で、私は文化の癒し効果

津田 和明

を新たに感じました。長期間、自由に外出できず、朝から晩までマスクを着け放しと憂鬱な気分がつのる毎日でした。

そんな中で、オペレッタ「メリーウィドウ」(2021年7月兵庫県立芸術文化センター)を観ました。オペレッタは余り好きではなかったのですが、数々の名曲と場面展開のテンポの良さに心は癒やされ、久々に爽快な気分を取り戻すことができました。

私は70歳から75歳まで日本芸術文化振興会の理事長をさせていただきました。地方の文化振興はその使命の一つでしたが、びわ湖ホールの活動を見ていると文化振興への道筋が見えます。これからびわ湖ホールの活動に格別のご支援をお願いするとともに、びわ湖ホール職員たちの一層の活躍に期待します。

2017年度よりびわ湖芸術文化財団は、びわ湖ホールと文化産業交流会館の2つの劇場を持つ財団として活動をしています。これを機にスタートしたこのコーナー。劇場に関わるさまざまな方に想いを綴っていただきます。



大ホールから琵琶湖を望む。遠方に比良山が見える。



上空から見るびわ湖ホール

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

びわ湖ホール 検索

チケットInformation



インターネット予約 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

携帯電話、スマートフォン(iPhone標準ブラウザ、Android標準ブラウザ)からもチケットをご購入いただけます。詳しい推奨環境に関する表示は<http://www2.biwako-hall.or.jp/mobile/env.html>に記載しております。携帯電話、スマートフォンの方はhttps://www2.biwako-hall.or.jp/eticket_mobile/をご利用ください。

※パソコンにて登録されたユーザーID、パスワードはそのままお使いいただけます。



電話予約 チケットセンター
TEL.077(523)7136



窓口販売 2階チケットセンター

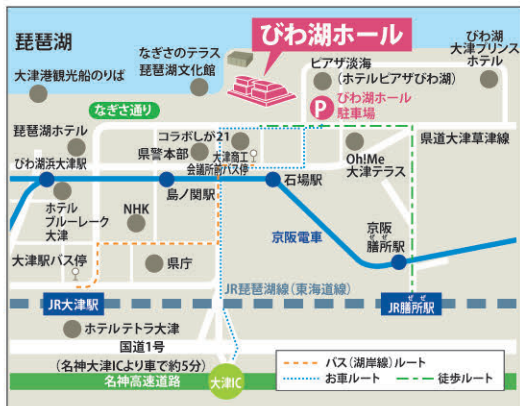
10:00~19:00/火曜休館 ※休日の場合は翌日。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。※()内は友の会会員料金。※一部公演を除き全席指定。

※一部公演を除き6歳未満のお子様はご入場になれません。

【青少年割引当日券の販売】青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年(25歳未満)の方に、半額で当日券を発売いたします。SS~E席のみ、U30・U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものをご提示ください。

【シアター・メイツ優待公演】シアター・メイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)。



〈アクセス〉

大阪から新快速で約40分、京都から約10分 名古屋から新幹線/京都駅より約60分

●JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、またはバス「湖岸線」約5分(大津商工会議所前下車、徒歩約4分)

●JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

《駐車場のご案内》有料849円 24時間営業 料金: 7:00~23:00 1時間毎210円(4時間経過後1時間毎110円)
23:00~7:00 1時間毎110円(時間内最大料金420円)



滋賀県立文化産業交流会館

Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137

TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119 <https://www.s-bunsan.jp/> 文産 検索

チケットInformation



インターネット予約 <https://biwako-arts.tstar.jp>

パソコン(座席選択可)、スマートフォン(座席選択不可)から24時間いつでもチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブン・ファミリーマートでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。(一部公演、席種を除く)

【利用方法】①チケット予約・購入 ②チケットの受取(会館窓口 or セブンイレブン・ファミリーマート)
※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。



電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。

滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52)5111

※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始(12月29日~1月3日)



〈アクセス〉

(電車でお越しの方)

JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分

(お車で越しの方)

北陸自動車道米原インターより約10分 または 名神高速道路彦根インターより約15分